

言語通級指導教室（ことばの教室）「自立活動」学習指導案

対象 2年女子A ， 2年女子B

指導者 田村 かおり(T1) 工藤 哲哉(T2)

1 題材名

「知らせたいこと（ニュース）を話そう」「音読をしよう」

「サ行音を正しく発音しよう」「リ」の音を正しく発音して伝えよう」

（自立活動：コミュニケーション・人間関係の形成）

2 題材について

（1）児童について

【A児】

A児は、1歳の時に口蓋裂の手術を行い、3歳7ヶ月より2年間療育センターで月1回STの言語指導を受けていた。その後、幼児ことばの教室に通い、小学校に入学後の昨年度からことばの教室への通級を始め、週2時間国語の時間に通級している。昨年度は、鼻咽腔閉鎖機能の向上の為の機能訓練や母音・ハ行・パ行の音を強化する練習を行ってきた。1年生の春休みに、ファイバー検査を行った結果により咽頭弁手術を受け、連休明けからことばの練習を再開している。

発音の様子は、カ行・サ行・タ行がハ行のような音に聞こえたり、ラ行がヤ行に近い音に聞こえたりしている。咽頭弁手術後、鼻漏れをしているような音は、機能訓練を行いながら様子を見ているが少しずつ改善されてきている。今後は、機能訓練を少しずつ減らして発音指導の時間を増やして発音改善へと進みたい。

また、これまでに話をして相手から聞き返されたり、分かってもらえなかったりした経験が多くあったためか、できないことに取り組む姿勢が前向きでなかったり、注意を受容しにくかったりする様子が見られた。そのため、できていることを褒めて強化しながら、できないことは少しでも伸びた部分を視覚化して本児が自分の伸びを実感できるように指導してきた。

自分の思いを伝えたり相手に優しい言葉をかけたりといったコミュニケーションにも苦手さがある。ペア学習を行う中で友達とのかかわりの場を設定し、かかわりのよさをすぐにその場で褒めること、また、妹二人のお世話をよく行っている部分をたくさん話題にしながらかかわることの楽しさを経験させることが必要な児童である。

【B児】

1年生の時の言語検査で「キ」「ギ」「リ」「ケ」の発音時に舌が盛り上がる側音化構音の結果を受け、今年度4月から改善を目指して週2回通級している。当初は舌の力を抜き、特に「イ」の口形を意識した母音練習や「舌の力を抜き、平らな舌にする。」という練習に取り組んだが、本人の頑張ろうという意識がかえって力みに繋がってしまうことがあった。そこで、1学期後半は舌だしの「エ」から「イ」へ、それから同様に舌だしの「キ」の発音を練習することで、徐々に舌を脱力して正しく発音することができるようになってきた。更に、「濁音は声帯を振動させて発音する。」練習を行うことで、「ギ」の発音も改善しつつある。

2学期に入ってから、1学期に引き続き「キ」「ギ」の構音練習や習熟練習に取り組んでいる。

コミュニケーションにおいては、本来は人とかかわることが好きで、友達とも仲良くしたいと考えている反面、自分の思いと反するときには不満を表したり、相手に譲ることができなかつたりすることもある。少しずつ経験を積みながら人とかかわることの楽しさを経験することが必要な児童である。

（2）題材について

本題材は、大きく三つに分けられている。

『知らせたいこと（ニュース）を話そう』の題材では、「話をすることを楽しむこと」を目標としている。生活の中で経験したことを記憶して言語化することは、繰り返し行いながら様々な言葉を獲得できる。また、話す相手と話の内容を共有できた経験を積むことで、自己開示が進み信頼を深め、目標を達成することができると思う。

『音読をしよう』の題材では、正しく発音できるようになった音の習熟練習を目的に行う。また、はっきりとよく伝わるように読むことを目標として行う。この目標を達成できたときには、学級

のみんなに聞いてもらう場を設定したい。このことは成就感を味わう経験から自己を肯定的に捉えることにつながると考える。

『正しく発音しよう』の題材では、「自己理解」と「正しい発音の定着」を目標としている。自分の誤った発音と正しい発音の違いを理解するとともに、正しい音の出し方を理解して音作りを行う。さらに、正しく出すことができるようになった音が身に付くように習熟練習をする。習熟練習では練習量を確保しつつ、表現することを促す学習を楽しみながら行い、良好にコミュニケーションをする力を育てていきたい。

また、ペアで学習を行う大きなねらいとして、これまでの学習で身に付けた力を活用し、ペアの児童や参観者へ正しい発音方法を意識して伝えたり、感想を聞いたりすることで、より活動する楽しさや広がりを実感することが期待できる。

このような経験を通し、児童が日常生活や学校生活等、今後のあらゆる「伝え合い」の場面で正しい発音を意識して話したり聞いたりできるようになることをねらいとする。

この題材は、特別支援学校学習指導要領の自立活動の内容「人間関係の形成」、「コミュニケーション」にかかわるものとする。

○選定した自立活動の項目

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
		(3)自己の理解と行動の調整に関する事			(2)言語の受容と表出に関する事

(3) 指導について

本題材の指導を行うに当たっては、指導の効果を高めるために、以下の点に注意したい。

- ① 正しい音と誤り音の違いを理解させ、自己弁別力を高める。
- ② 構音の正誤を理解させるとともに正しい構音法を習得させ、自己認識力を身に付ける。
- ③ 子どもと共に練習成果を評価できるように工夫を行い、意欲化を図る。
- ④ 連絡ノートを活用し、学級担任や家庭との連絡を密にし、言語環境をより望ましいものにする。
- ⑤ 本人の精神的な側面のケアを行いながら、自信をもたせる工夫を行う。
- ⑥ 『知らせたいこと（ニュース）を話そう』と『音読をしよう』はペアで学習し、『正しく発音しよう』は個別に学習する。
- ⑦ ペアで学習することでコミュニケーション力を伸ばし、楽しさを感じられるようにする。

これまで、ペアでの学習を1学期に20時間程度実施してきた。ペアで学習することで、学級から出てくるときに心強かったり、会話する機会が増えたりしている。

『知らせたいこと（ニュース）を話そう』『音読をしよう』は、今まで段階的に取り組んできた学習である。通級して間もない頃は、二人とも「話すニュースはない。」と言っていたが、指導者からの質問形式にすることや、話題を提供してそれに沿って話すことで少しずつ話すことができるようになってきた。しかし、話すことが楽しいと感じている様子は見られない。今後は、話題の一つとして、二人の共通点「長女であること」を生かしたものも提案していきたい。2年生のうち自分で話すことを決めて（自己決定）話せるようにしたい。音読は、正しく発音することができるようになった音の習熟練習を目的として行う。また、目標をもたせ、表現の場を広げて成就感につなげるといふねらいから、今後、学習する単元である「わたしはおねえさん」の導入時に、ペアで学級のみんなに音読を聞かせる機会を設定することを担任へお願いしている。

『正しく発音しよう』では、個別の課題に沿って発音練習をしていく。A児は発音がかなり不明瞭であるため、日常のコミュニケーションにおいて嫌な思いを経験してきたと考えられる。学習中に「できない。」と諦めたり自己肯定感が低かったりする様子が見られた。そこで、自分の発音の正しい音と誤った音を分かった上で、どこをどうしたら正しい音を出すことができるのかを理解できるようにしたい。また、学習計画シートを見ながら練習を進め、児童が見通しをもって意欲的に進められるようにしたい。習熟練習については、活動方法を選ばせたり練習量を自分で決めさせたりして成就感をもてるようにしたい。

B児は、通級を始めてから、少しずつ課題音を明瞭に発音することができるようになってきている。本題材の学習に取り組む上でも今までの練習の成果を生かし、課題音の構音方法に気を付け、相手に伝わるような発音や速さで話すことができるようにしたい。

また、B児の中での課題音への意識づけを図るうえでも学習計画シートを活用し、意欲をもって取り組むことができるようにしたい。

習熟練習では、課題音の入った短文を考えたり答えたりする場面（自己選択）を設定し、楽しさや成就感をもつことができるようにしたい。本時の学習を行うに当たり、前時にも同じような学習パターンを経験させておくことで、安心して取り組むことができるようにしたい。

3 題材の目標

- (1) 関心・意欲・態度
話すことを楽しいと感じる。『知らせたいこと（ニュース）を話そう』【人間関係の形成(3)】
- (2) 自己理解
練習音に気を付けて音読をすることができる。『音読をしよう』【コミュニケーション(2)】
- (3) 自己選択、技能・表現
正しい発音で単語を言ったり短文を言ったりすることができる。『正しく発音しよう』
【コミュニケーション(2)】

4 指導と評価の計画

時	学習内容	主な評価規準
1	○自分の誤り音を分かり、練習の見通しをもとう。	・音の出し方の違いが分かり、聞き分け<正誤弁別>を行っている。(理)
2	○自分の誤り音を分かり、練習の見通しをもとう。 練習計画を確認する。	・できていることとできていないことが分かり、意欲的に関心をもって計画表を確認している。(理・関)
3～8	○「ス」の音を正しく発音しよう。	・「ス」の音を正しく出す方法（ストロー吹き・風の音のス）で意欲的に練習している。(関) ・「ス」の音を正しく発音できる。 <音節，無意味語> (技)
9～13	○「サ行」の音を正しく発音しよう。	・「サ」「セ」「ソ」の音を正しく発音できる。 <音節，無意味語，単語，短文> (技) ・カルタで練習する目的ややり方を理解している。(理) ・まいごさがしアナウンスで練習する目的ややり方を理解している。(理)
14 【本時】	○「サ行」の音を正しく発音しよう。	・「サ行」の音を全音正しく発音できる。(技) ・スリーヒントクイズで練習する目的ややり方を理解している。(理)
15 16	○「サ行」の音を正しい発音で伝えよう。	・活動内容を理解して自己選択できる。 <カルタ，スリーヒントクイズ，まいごさがしアナウンスゲーム> (選) ・「サ」の音を正しく発音できる。(技)

B児

時	学習内容	主な評価規準
1	○自分の誤り音を分かり、練習の見通しをもとう。	・音の出し方の違いが分かり、聞き分け<正誤弁別>を行っている。(理)
2	○自分の誤り音を分かり、練習の見通しをもとう。 ○練習計画を確認する。	・できていることとできていないことが分かり、意欲的に関心をもって計画表を確認している。(関・理)
3～8	○「リ」の音を正しく発音しよう。	・「リ」の音を正しく出す方法（舌の挙上，レ+イ）で意欲的に練習している。(関) ・「リ」の音を正しく発音できる。 <音節，無意味語，単語，短文> (技)
9 【本時】	○「リ」の音を正しい発音で伝えよう。	・目的ややり方を理解して、課題音の入った問題に答えたり、自分で問題を作ったりしている。(理) ・活動で正しく発音している。(技)
10		・活動内容を理解して自己選択をしている。 <スリーヒントクイズ，問題> (選)

※『知らせたいこと（ニュース）を話そう』『音読をしよう』は1年間を通して、毎時間行う。

学習内容	主な評価規準
○『知らせたいこと（ニュース）を話そう』	・話したい事柄を決めて話したり友達の話聞いて質問したりすることができる。(技) ・会話を楽しもうとしている。(関)

学習内容	主な評価規準
○『音読をしよう』	・文を正しく音読しようとしている。(関) ・口形に気を付けて音読することができる。(技) ・正しく出せるようになった音を、正しく音読することができる。(技)

5 本時の指導

(1) 目標

ペアの友達と楽しく話そうとする。『知らせたいこと（ニュース）を話そう』

自分で注意点を決めて音読することができる。『音読をしよう』

練習や活動の目的を理解して、正しく発音することができる。『正しく発音しよう』

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準
コミュニケーションの 関心・意欲・態度	・会話を楽しもうとしている。
自己理解 知識・理解	・自分で決めた注意点を意識して読んでいる。 ・目的ややり方を理解している。
技能・表現	・練習や活動で正しく発音できたか。

(3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価	教材・教具
導入 2分	1 本時の学習課題の確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">正しく発音しよう。</div>	●本時の学習の順と課題音を確認する。 (T 2)	カード
展 開 40分	2 ニュースを話す。(ペア) 3 音読をする。(ペア) 4 発音練習をする。(個別) (A児) (T 1) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">サ行音を正しく発音しよう。</div>	●毎回繰り返し行っている学習なので、話をしたり質問をしたりすることを楽しめるようにする。(T 1) ●教師から評価をする。(話の仕方や発音ではなく、話や質問の内容のよさを褒める。) ◎会話を楽しんでいる。(観察) ●ウォーミングアップをしてから音読する。 ●音読する場面と、何に気を付けて読むか確認をする。(T 2) ◎自分で決めた注意点を意識して読んでいる。(自己評価)	教科書
	・音節、単語で正しく発音する。 ・短文で正しく発音する。 (B児) (T 2) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「リ」を正しい発音でつたえよう。</div>	●学習の見通しをもたせて意欲化を図る。 ●どのようにしたら正しい音を出せるのかを確認する。 ●正しく言えない場合は、ストロー吹き等に戻って確認をする。 ●練習の目的を意識させ、練習する量は自分で決めさせる。 ◎目的ややり方を理解している。(観察) ◎正しく発音している。(自己評価と指導者の即時評価)	学習計画シート 単語カード 短文カード
	・短文で正しく発音する。 ・問題文の中で正しく発音する。	●学習の見通し(学習計画シート)をもたせて意欲化を図る。 ●ウォーミングアップで単語練習をする。 ●正しく言えない場合は、既習の「レイ」の発音練習で構音のポイントを確認する。 ●課題音を含んだ問題に答えさせる。 ●同じような問題を作らせる。 ◎目的ややり方を理解している。(観察) ◎正しく発音している。(自己評価・観察)。	学習計画シート 問題作りシート

	5 ペアでスリーヒントクイズをする。	<ul style="list-style-type: none"> ●意欲をもって始められるようにする。 ●活動を行う前に目的を確認し、はっきりと話すことと、練習音に気を付けて伝わるように話すことを確認する。 (T 1) ●ペアで問題を出し合い、相手を変えて行うようにする。(参観者へ) ●児童の成就感を高めるねらいから、参観者からよかった点を話してもらう。 ◎正しく発音している。(観察)	スリーヒントクイズカード
終末3分	6 振り返りをする。 7 次時の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> ●学習シートに自己評価を記入し、次につながることを話すようにする。 (T 1) ●次時の学習を学習計画シートで確認する。(T 1) 	学習計画シート

6 配置図

